夕刊
臺灣日日新報
六月二十九日

陸鷲ダーウイン攻擊

敵機卅機を擊墜破

ワウ附近 十四機を擊墜破

【東京發至急報】大本營發表（六月二十九日十二時）

一、帝國陸軍航空部隊は六月二十日及び二十二日濠洲西北部に於ける敵空軍基地ポート・ダーウインを攻擊せり、其の狀況次の如し

（一）六月二十日敵戰鬪機四十數機と交戰其の二十七機を擊墜し地上に在りし三機を擊破せる外、兵舍群の大部及飛行場施設を爆碎數箇所を炎上せしむ、我が方の損害自爆三機なり

（二）六月二十二日戰鬪機隊を以て再び進攻せるも敵飛行機及對空火器共我に應戰するものなく全機無事歸還せり

二、帝國陸軍航空部隊は六月二十日及二十一日ニューギニア島ワウ附近敵飛行場を攻擊次の戰果を收めたり

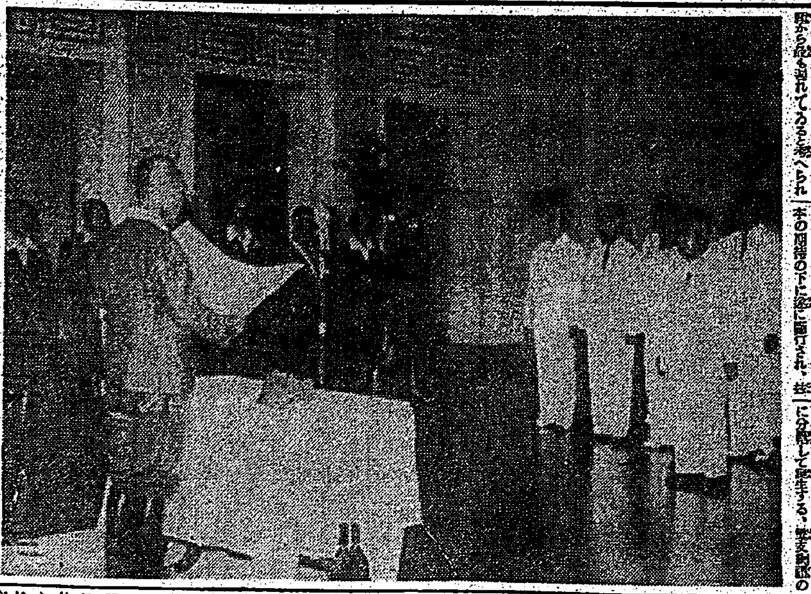
（一）六月二十日ワウにおいて地上に在りし敵飛行機三機を擊破す、我に損害なし

（二）六月二十一日サラモア附近上空において敵戰鬪機二十數機と交戰其の八機を擊墜三機に損害を與へたり、我が方一機未だ歸還せず

空陸に敵影を見ず

ダーウイン潰滅狀態

【〇〇基地二十八日發同盟】二十日ポートダーウイン邦大爆擊を敢行したわが陸軍部隊は二十二日再び[illegible]の大編隊を以て同[illegible]を[illegible]した、[illegible]は前回の[illegible]に[illegible]において[illegible]の大半を[illegible]したため[illegible]地上砲火は全く沈黙しわが大編隊は悠々〇〇基地に歸還した



比島獨立準備委員任命式 黑田比島派遣軍司令官は二十日官邸に於て比島獨立準備委員二十九名の任命式を擧行した、寫眞は任命式（陸軍省檢閱濟）

戰時生活面に適應

地方行政協議會の創設

【東京發】防空、食糧、經濟の[illegible]に[illegible]地方行政協議會が全國を九地方に分割して[illegible]する[illegible]本の期待の下に[illegible]

[illegible]打破であり、行政[illegible]化への一大[illegible]である、以下[illegible]の[illegible]として防空、增產、配給、教育の戰時生活面に對し新機構が果す[illegible]を考へて見よう

防空

[illegible]

增產と食糧配給

[illegible]

教育

[illegible]

七月十五日實施

企業整備資金措置法

【東京發】政府は二十八日の臨時閣議において企業整備資金措置法施行期日に關する件並に同法施行令要綱を決定、七月十五日を以つて同法を施行することとなつた、施行令要綱左の如し

情報局發表（企業整備資金措置法施行令要綱）

第一、左の各號の場合における[illegible]企業整備資金措置法第四條の規定に依りこれをなすことを要すること、但し命令をもつて定むる場合はこの限りに非ずとすること

一、企業整備（企業整備令[illegible]）の爲め企業の廢止もしくは休止又は企業の全部又は一部の讓渡ありたるとき、但し一件の金額三萬圓未滿なるときは除くこと

二、[illegible]

三、前號に該當する場合を除くの[illegible]

四、資本金（出資總額、株式[illegible]）の[illegible]十萬圓以上の會社の資本金の三分の一以上に相當する株式又は出資の持分の讓渡ありたるとき

五、前號に該當する場合を除くの[illegible]

六、一件の金額千圓を超ゆる[illegible]但し千圓以下の部分を除くこと

七、[illegible]

八、[illegible]

九、國民更生金庫が[illegible]

第二、[illegible]

第三、[illegible]

第四、[illegible]

第五、[illegible]

第六、[illegible]

第七、[illegible]

第八、[illegible]

第九、[illegible]

定例閣議

【東京發】二十九日の定例閣議は午前十時より首相官邸に開催、星野書記官長より內閣及び各省官制の改正につき說明、[illegible]七月十四日から三日間[illegible]に開催される[illegible]につき說明、[illegible]午後零時二十分散會した

海運界も歡迎

[illegible]

難航の米戰時政策

食糧不足、インフレの危機

【リスボン二十七日發同盟】[illegible]

デーヴィス辭職

ルーズベルトに反對

【ワシントン二十八日發同盟】[illegible]

食糧增產に寄與頗る大

千石產組中央會頭語る

【東京發】[illegible]

船舶の難破と死亡の認定

當局の確認報告

高等法院上告部判官 草薙晋

[illegible]

搭乘員の喪失三千

歐洲の航空決戰 反樞軸空軍損害莫大

【ストックホルム二十八日發同盟】[illegible]

米軍黑人部隊

英憲兵隊衝突

【ジュネーヴ二十九日發同盟】[illegible]

發明に積極的助成

發明振興會協議會開く

【東京發】[illegible]

日本證券取引所法施行規則

三十日施行

【東京發】[illegible]

神社の整備

進行の方針

[illegible]

第二戰線を說く

駐墨ソ聯初代大使着任

【ヴェノスアイレス二十七日發同盟】[illegible]

イランの暴動

內亂に進展

縱斷鐵道遮斷、數都市占據

【ストックホルム二十八日發同盟】[illegible]

人事

[illegible]

夏に重宝する
でんぺら
水むし・あせも・たむし
どこにでもお家庭でたいへん便利な藥用石鹸

各種セット多種在庫 寶山模型飛行機部

諸官衙御用達 金星堂藥舖

產業戰士手洗用 工場專用 ほまれ洗素 製造元 野田商行

メガネは 和田眼鏡店 臺北市大和町四ノ八 電話六一五〇番

衣類蟲よけの王 ヒナタ（香入） 總代理店 佐野商行

世界馳名 梅毒風濕骨痛リウマチス特效 九一四內服新藥 臺北市永樂町 神農氏大藥房

藥品全般 醫院向藥品取揃へてあります 大平藥業株式會社

クスリなら 東京堂藥局 臺北市建成町三ノ一 電話六四〇五番

夏大島、つむぎ草帶地 明石上布、實用銘仙各種 合資會社 則松榮商會

各種鞄・非常袋 各種靴・救護袋の御用命は 大正堂靴鞄店 臺北市京町一 電話二一二四番

夏物新荷揃 丸吉吳服店

放送局選定 ラジオは中川 臺北市本町

特許 奉公たわし 東子製造株式會社

靴鞄商 巴商會 臺北市榮町二ノ一七 電話參五八七・六參九弐番

姓名學 名付ト改姓名 姓名學館 堀澤天久堂

クリーニングは 太洋社洗濯部へ 臺北市御成町二丁目 電話二三五二番

病源療法 滋血强壯精力劑 ドラミン 臺灣總配給所 臺北市大和町三ノ一

先づ健康には眼の保健！メガネなら專門の弊堂へ 金光堂眼鏡店

双葉商行の實物取引 島內現株で常に御最良に預り大量取引を致して居りますので賣買共に御用命次第御期待に副ふ様努力致します 株式會社 双葉商行

芙蓉糊 佐野商行

陸軍伍長の新兵さん

三十歳で再び徴兵檢査、甲種合格

變り種壯丁隈本正光君

【新竹電話】大東亞戰爭と同時に在留中の南米エクアドル國で抑留され第一回交換船で歸朝し三十三歳で始めて徴兵檢査をうけた河田某氏──[illegible]本年度の新竹市に於ける徴兵　檢査は既報の如く變り種を出したが更にもう一人[illegible]徴兵檢査をうけ、見事甲種合格となつて陸軍伍長たる三十歳の兄のあとを追ひ、齡三十で新たに入營しようとする人のゐる事が明かになつた、この第二番目の變り種は目下新竹州地方課に勤務[illegible]てゐる隈本正光氏で、[illegible]

[illegible]

米英の策謀を撃碎

親日タイ内閣樹立

國民革命成つて十一年　宮川岩治氏追想談

【バンコック發同盟】王族獨裁政治、米英の侵略、軍閥の横暴等國内の諸弊害に反抗して一九三二年六月二十四日決起バンコックに勃發した國民革命は何ら流血の慘を見ることなく僅か四日でチヤクリ王朝の專制政治を倒壞し、近代的立憲君主政體を樹立し「タイ國人のタイ國」の礎石を築きあげた、このタイ國の歴史を飾した國民革命が成就してから早くも十一年アジア人本然の使命に目覺めて米英勢力を完全に驅逐したタイ國はいまや米英陰謀の征服完遂に邁進する[illegible]日本と[illegible]この新しき歴史を作つた國民革命の若き指導者ピヤ・パホン前首相並にピブン現首相の親友として[illegible]宮川岩治氏（六〇）（[illegible]）は來る二十四日の第十一回革命記念日を前に、當時を追想しながら「國民革命と米英の策謀」につき次の如く語つた

[illegible]

中斷　してゐた[illegible]

憲法　政治を布く日本の[illegible]

決行　の期日方法並に革命成功後の措置等について協議を行つた結果、六月二十四日未明を期して決行することに決定した、ところがその前夜革命成功後の大統領の椅子にポアラデーツの登場は[illegible]

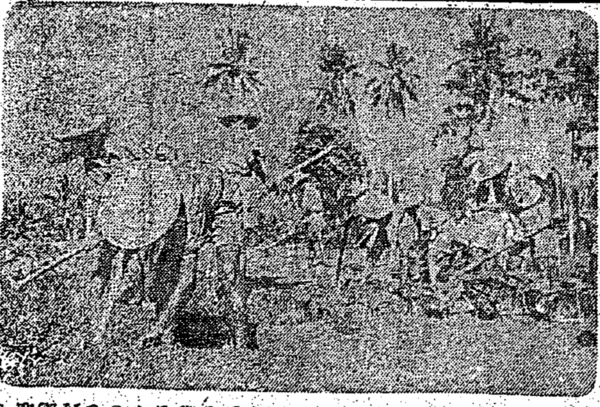
交渉　を引受け、七日[illegible]

[illegible]

あす大祓ひの御儀

全島民大祓ひを受けませう

あす三十日は「大祓」の日、宮中を始め奉り全國各神社で「大祓の神事」が行はれる、この日臺灣神社、臺南神社及び建功神社では午後四時から大祓式を執行、本年の[illegible]大祓に參集し大祓が行はれるので島内[illegible]中央本部では能ふ限り全島各奉公班とも最寄神社の大祓式に參列するやう呼びかけてゐる、なほこの大祓の意義は天下萬民の罪穢を祓ひ除かんためのものであるが決戰下にあつては單に罪穢れのみでなく我々はこの大祓を受け心身を清めることによつて祖先以來我々の身體に脈々と流れてゐる血潮の中から盛り上る魂をよび起し不平も不滿も怠惰もまた私利私慾に走らんとする米英的思想や謀を祓はんとす[illegible]いてゐる光榮に感激しつつこの難局を決然と乘り切つて大東亞戰爭完遂に邁進しなければならない



新ジャワ建設に挺身

根幹をなす警防團とプットラ

【ジャカルタ二十七日發同盟】ジャワでは新に警防團及び青年團の二大組織が逞しく活動を開始した、去る四月一日原住民の指導者を中心として組織された民衆總力結集運動（プットラ）と步調を合せて決戰態勢に即するジャワの非常體制がこれで一先づ出來上つた見てよい、ジャワ民政の成功は、恵まれた物資の豊かさを基盤とする經濟力のほかに五千萬民衆の建設戰への協力ぶりに負ふところが大きい、以下警防團と民衆總力結集運動の現況を紹介して見よう

貧弱な舊警察力

ジャワ警防團は警察の補助機關として設置され、防空防火部隊として最も大きな期待をかけられてゐる、和蘭時代のジャワの警察は普通警察と部長及び村長の支配下に主として村落の警備に當つてゐた防衛警察の二本建であつた、その[illegible]

民衆警察の確立

[illegible]

組織、監督、任務

[illegible]

民衆總力結集運動

[illegible]

事業と組織

[illegible]

兒童の慰問畫に喜ぶ海鷲勇士

[illegible]

醫藥品現在高調査

七月一日午前零時期し實施

昭和十八年度醫藥品その他の衞生用物資の現在高調査は來る七月一日午前零時を期して施行される、本調査は府令醫藥品衞生材料現在高調査規則に基き昭和十八年六月二日府告示第五百四十八號に依り醫藥品中

洋藥　及び漢方生藥[illegible]

實施　して來つたのであるが[illegible]

數量　を適正に配給し[illegible]

[illegible]

傷病將兵に島民の感謝

[illegible]

物言はぬ戰士を茶菓で慰問

[illegible]

獻艦運動好成績

新竹州　豫定額突破の豫想

【新竹電話】[illegible]

國語都臺北建設へ

あす專任推進員に辭令交付

[illegible]

一、[illegible]

二、國語講習所並國語常用推進委員會の組織

三、國語講習者の[illegible]

四、國語講習所並國語常用家庭調査

五、國語普及年次計畫の推進

任命　して[illegible]

悄然　とバンコックを去つた[illegible]

相談　[illegible]

譽れの輸送戰士顯彰

廿日　海の記念日に表彰式

[illegible]

建艦費に一萬二千圓

新莊郡民赤誠の獻金

[illegible]

臺大工學部學生募集

近く募集要項發表されん

臺北帝大工學部は今秋十月開設を目標に準備を進めてゐたが既報の如く工學部長以下教授陣も七月一日發令され、また大阪から府當局に申請中の工學部建物も去る十八日を以て認可の運びとなり[illegible]は學生の第一回募集に着手する運びとなり近く募集要項が發表される、同工學部は機械工學、電氣工學、應用化學、土木工學の四科で[illegible]、本年度には十六講座の[illegible]を見る事になつてゐる

乘馬に心身鍛錬

新竹桔梗俱樂部員錬成

【新竹電話】新竹市桔梗クラブは本島第一番目に結成された先驅としての[illegible]

『婦人に望む』講演會盛況

[illegible]

地區別	參會者	期日
臺北地區　臺北市	[illegible]	十七日
基隆地區　基隆市、七星郡	[illegible]	十七日
[illegible]	同	十一日
[illegible]	同	十二日
[illegible]	同	十三日

國校職員體育大會

臺北州　近く地區別に開催

[illegible]

山に赤誠の獻金美談

【[illegible]電話】山地高砂族の熱誠を語る獻金美談二つ……

その一、[illegible]

堅き決意を誓ふ婦人

[illegible]

中堅商業人錬成會

[illegible]

三十日宜蘭商議所總會

【宜蘭電話】宜蘭商工會議所第三回總會は三十日午後三時より市公會堂に開催、左の議事を上程する

△承認事項

一、十七年度事業成績

二、十七年度決算其他

△議決事項

一、現議所規約改正の件

二、役員二名補充選任の件

△報告事項

一、定款改正の件

二、會計報告員の件

陳學海氏客死

【厦門支局特電二十九日發】厦門在留同胞の長老陳學海氏は二十七日上海で客死した、享年五四、氏は厦門在住二十八年、幾多の公職にあり立志傳中の人であつた、郷里は[illegible]市である

今夜の番組

【第一放送】▲六・〇〇少國民の時間[illegible]

明朝の番組

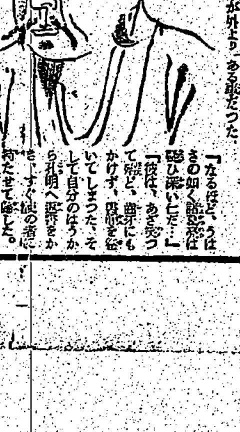
[illegible]

後三國志（136）

（出師の卷）

吉川英治作　矢野橋村畫

鷄家全旋（二）



[illegible]

頑症の皮膚病に

スミカツ　外用

クスリはホシ

下痢？　御心配無用！

下痢したらすぐチャコールを一日數回服用すれば大抵の下痢は物の數ではありません　試して御覽なさい！

ホシチャコール錠

三十錠　五十錠　一圓

星製藥株式會社

臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

[illegible]

ガダルカナル島血戰記

日本武士道の精華

那須、古宮兩部隊長奮戰

【東京電話】大東亞戰爭はいよいよ苛烈なる決戰の段階に入り前線におけるわが將兵はあらゆる惡條件を克服して敵の執拗なる反攻に對し勇猛果敢なる戰鬪を續け米英擊滅に邁進しつつあるが、ここに昭和十七年十月ガダルカナル島北岸タサワロングに敵前上陸を敢行したわが古宮部隊將兵並に那須、古宮兩部隊長の奮戰の模樣が森川陸軍報道班員に依つて齎された

同部隊はルンガ河地帶にある敵の飛行場を叩き潰すため優勢なる敵と交戰し、且つ人跡未踏の密林地帶にマラリアに悶され激しい下痢に罹る等の苦難に激しき飢餓地獄と戰ひ、克く敵陣を突破し、皇軍の威武を發揚した、特に那須、古宮兩部隊長は敵の有力部隊の包圍下に曝されながら、日夜孤軍奮鬪を續けるわが軍の士氣と團結をいよいよ強烈ならしめつつあつたが、遂に那須部隊長は激しいマラリアのため陣中に斃れるや、殘つた古宮部隊長は軍旗を捧して將兵と共に敵陣中に斬込み、その使命を全うして日本武士道の精華を遺憾なく發揮したもので、その壯烈鬼神をも哭かしむる肉彈突擊振りはアッツ島におけるわが勇士の玉碎振りにも劣らぬものがある

那須弓雄部隊長

古宮正次郎部隊長

密林、莉の道を切開く

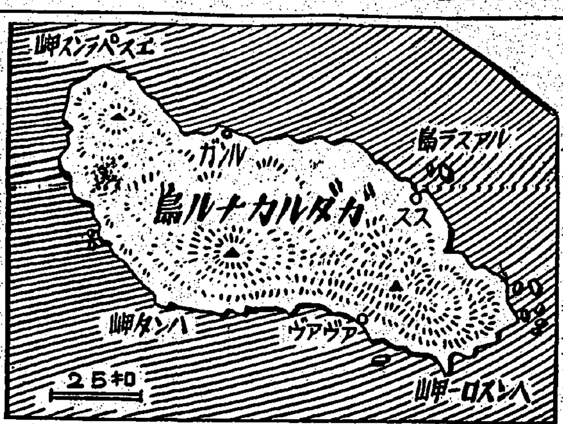
陣頭に立つ古宮部隊長

【陸軍報道班員 森川賢司】人跡未踏、密生してゐる大木が空々と天を衝き大蛇の樣な太い蔓が幹から枝へ、枝から地上へ、はい廻り名も知らぬ寄生木が幹にからみつき鐵の樣な鋭い刺をもつた莉が隙間もなく地上をのた打つてゐる、この密林地帶は千古の森を認めなんどとなく神秘的な空氣が靜寂な中に漂つてゐた、前も後ろも左も右も大木と大木、蔓と蔓に蔽はれて薄暗く、見上ぐれば一抹の青空さへ見えない物凄さと言はうか、恐ろしさと言はうか無言の大自然がひたひたと全身を襲うて思はず肌を粟だたしめる、更に又地上には巨大な木の根が章魚の足の樣に八方に擴がり無氣味なことは夥しかつた

晝尙暗いこの大密林 地帶に前進してゐるのはわが精鋭古宮部隊であつた、曾ては陸軍士官學校の教官として多くの軍人將校を訓育し一方武道の達人として其錚々たる名を謳はれた部隊長古宮大佐は[illegible]の堂々たる巨軀を陣頭に進め磁石と地圖とを睨み合せて方向を定め自ら指揮をとつてゐた、昭和十七年十月〇日敵前古宮部隊はガダルカナル島北岸タサワロングへ敵前強行上陸を敢行するやルンガ河下流地帶にある敵の飛行場を叩き潰すため道なき密林地帶を切開き敵の背後に迫りつつあつたのだ、日本軍の上陸を極度に恐れた敵は飛行場から密林地帶にかけて間斷なく飛行機を飛ばし陸軍と協力して海岸線一帶を嚴重警戒してゐた、當時の敵陣はルンガ河の西クマ高地からヒヨウ高地にかけて堅固なる陣地を構築し幾重の鐵條網を張り巡らし更に後方の主要陣地は飛行場の東、北流する中川の左岸に沿うて飛行場を包圍する樣に構築されてゐた、砲兵陣地は飛行場の北側、海岸に沿うて占領し高射砲陣地はヒヨウ高地の東北部と西部附近にあるらしかつた、敵は頻りと兵力を增し密林を砲擊し密林地帶や椰子林を燒き拂ひ陣地構築に汲々としてゐた、かうして彼等は近代科學兵器の多數に依存し火力萬能に全力を傾注し豐富なる彈藥の使用に依つてわが軍の攻擊力を破碎せんと企圖してゐるらしく思はれた、又敵はわが軍の陽動や密林突破の陽動を極度に恐れグラマンP三九等の戰鬪機をもつて密林上空を飛び廻り揚陸地と思はれる所には盲爆の雨を降らせ少しでも怪しいと思はれる密林地帶にも惜しげなく猛爆を叩きつけた、敵飛行場附近はガーゲル少將の指揮する海兵隊で守備してゐたが最近一日と海兵が上陸しての兵力二萬五千と言はれてゐた、古宮部隊は今この大敵をアウステン山の背後を迂回し

背後より突入擊滅 せんと道路を拓けてゐるのであつた、時には部隊長自ら斧を揮つて太い蔓を切り鉈をとつて莉を刈り道を切り開いてゐた、夜の密林地帶は一寸先も見られない、敵機に發見される恐れがあるので、灯りは絶對つけられない兵隊達は一列縱隊となり前の兵隊の背囊を摑み木の幹に躓き或は泥濘へ踏込んで泥まみれになつて進んだ、時は雨季の[illegible]である、

白い霧が密林地帶を風の樣な速さで包む、天地を覆へした樣な物凄い大豪雨が密林を[illegible]音を立てて密林地帶を叩きつけた泥水は忽ち河となつて濁流と地上を流れ然もこの大豪雨は一日二三回必ず襲つて來た部隊長以下將兵達の軍服は上陸以來かはいたことがない、何時もびしよ濡れでズボンの膝邊りは[illegible]のために破れ半ズボンの樣になつてゐる「日本の軍人だつ、東北健兒だぞ、こんなことにへこたれるなつ」部隊長は自ら部下を激勵し相變らず陣頭に立つて莉の道を切開いた顔や手足は傷だらけになり



そこから血潮が吹出してゐる部隊長のこの苦鬪振りを目擊してゐる部下達は幾度となく涙を拭つたが、「大丈夫ぢや、心配するな」と豪快に笑つて相變らず密林と莉を切り拓けてゐた、十月〇日部隊は漸く丸川の邊りに達したいよいよ敵の側正面である、背後を衝く部隊の行動を敵に察知されては上陸以來不眠不休の苦心も水泡になると考へた部隊長は勝股大尉を呼んで地形を示し前面の高地占領を命じた、勝股大尉は部下と共に地圖を唯一の頼りとし密林地帶を潜り、苦心の結果、敵陣高地を占領して[illegible]と兵を配置して警戒に任じてゐた、暫らくすると杖をもつた部隊長が單身ひよつこりこの陣地に姿を現はした「勝股大尉、この高地はちよつとおかしいぞ」部隊長の頭では、圖上の敵陣高地を占領すれば

敵の陣地を一望の下 に見下せるものとの見込みをもつてゐたのに前も左右も草原の高地が起伏して蒼空以外に何も見えなかつた「勝股大尉やはりここは違ふぞ」暫らく地圖を見つめてゐた部隊長はかう言つて大尉を[illegible]「前面のあの高地ぢやよ一緒に來て見い」「部隊長殿、危險が多ります、部隊長殿は大切なお體」大尉は自分の身を[illegible]ことは絶對に堪へなかつた「なんのわしは指揮官長ぢやよ」と愉快さうに大きく笑ふと大尉を隨へ密林の谷へ下り、又登つて目的の草原高地へ出た「ここぢや、ここぢや」この高地から見れば敵の陣地は一望の下に展けてゐた、殆ど[illegible]の丘陵地帶で山頂は草原となりマタニカウ河、ルンガ河はその間を縫ふ樣に北流してゐた、振返れば丸川の邊りも眼下にありわが陣地まで手にとる樣に見えた「のう勝股大尉、この高地さへ抑へれば」部隊長は滿足さうに笑ひ「向ふのあの高地も一つ」と右手の草原高地を指した、再び部隊長は草を掻き分け磁石と地圖を頼りに第二の目的高地へ進んだ、後に續いてゐる勝股大尉はありがたいやら、も

一億總常會開催を閣議報告

【東京電話】[illegible]十四、五、六の三日間に亘つて[illegible]

"軍旗と共に死ねつ"

悪性マラリアの身、陣頭指揮 神の姿・那須部隊長

「古宮部隊長は」折柄部隊へ追ひついたのは杖を右手に摑み左手を野村副官の肩にかけた那須部隊長であつた「部隊長殿は先頭に立つて居られます」「さうかみんなも御苦勞ぢやの、しつかり戰つて呉れよ」と兵隊達に犒ひの言葉を投げて走る樣に先頭へ進んだ、那須部隊長は[illegible]をきりりつと結んでゐたが顔は眞赤に目の中は生氣なく[illegible]の樣に見受けられた、當時那須少將は

悪性マラリアに冒さ れ四十度以上の高熱が續き躰は極度に衰弱してゐた、だが古宮部隊前進の報告を受けるや[illegible]の旺盛な少將の頭に「人間は死生を超越して任務に邁進せよ」と言ふ座右の銘がぐつと浮び上つて來た「俺は古宮と共に前線に立つ」副官や軍醫はその無謀を極力止めたが少將は頑として聽じなかつた

不肖那須弓雄 陛下より部隊指揮を一任されてゐる、最後の斃れるまで指揮をとるのがわしの任務である

少將は[illegible]出發をなし高熱と疲勞にふらつく身を一本の杖で支へ野村副官の肩を借りて部隊の後を追うたのであつた、元來少將は世の中の酸いも甘いも嚙み分けた典型的武人肌の人で文學、詩歌等も玄人を凌いでゐた

おのこ我れ防人となる甲斐ぞあれ東半球の果に死ぬれば

これは少將がガ島へ上陸して[illegible]の後自己の心境を現はした歌であるがこの歌が謂ゆる少將辭世の歌となつてしまつたのだ、又少將の[illegible]は謹嚴で一見恐ろしい樣であつたが人一倍涙もろく部下思ひだつた、殊も少將の頭を惱ました事は部下の戰死者、マラリア患者、下痢患者の續出したことである「陛下の赤子を多く失ひ奉つた、その罪萬死に値する」少將は暇さへあれば遙かに宮城を伏し拜み不德の罪をお詫びしてゐた、何時も少將の頭にこびりついて離れないのは去る九月敵陣深く突入し敵の心膽を寒からしめて華々しく散つた將士の英靈のことであつた、九月〇日の未明敵飛行場の海岸

タイボ岬へ突如敵前 強行上陸を敢行した部下那須部隊は一路敵陣地へ進擊し八日の拂曉にはレンゴへ到着した、いよいよ敵陣間近である部隊は密林や椰子林の中へ潜り込み山と河から敵陣へ突入する作戰をとつた、將兵の意氣は將に天を衝く、山と河との合言葉で十二日夜半を期し一齊突擊を敢行し敵を殲滅するのだ、六日目は〇〇部隊と出會ひ[illegible]を受け川口部隊長から前進する地形、敵陣等を說明され注意を與へられた、翌日、明夜こそ白兵戰をもつて敵を殲滅すると兵隊達は[illegible]固い木を切つて手製の[illegible]を作つてゐた、八日目の夜半突擊命令が下つた、雨後の漆の樣な黑い夜になつた各隊は天をひつくり返す樣な喊聲と共に東南にある敵の第一線を突破した、慌てた敵はこの地點に全兵力を集中し迫擊砲、機關銃を間斷なく撃ち出し防戰に努めた、敵の飛行機は頭上を飛び廻り照明彈を落して地上を白晝の樣にし爆彈を[illegible]に投下した

『おのれつ、ヤンキー奴』 「日本刀の斬味を見よ」將兵は血刃となつて突擊し、猛烈なる敵の迫擊砲彈を冒して第二線を突破した、敵の迫擊砲火は十字火となつて飛んで來る、味方の將兵はばたばたと斃れて行く、この激戰中或中隊長の

つたいないやらで[illegible]この部隊長の生きた教訓をしつかと己の中へ叩き込んだ、この二つの高地は九〇三、九九〇の高地と稱し其後味方の作戰に非常に有利な據點となつたのである、〇日、部隊は丸川上流に到着した、いよいよ部隊は[illegible]をとつてアウステン山の背後を廻り一氣に敵陣へ突入するのだ、その夕刻部隊長は將校以下中隊長連を集めた「部隊はいよいよ明朝を期し[illegible]前進する、各隊はそれぞれ任務を自覺し奮鬪邁進せよ、東北健兒の本領を十分に發揮すべし」最後の決戰としてとつて置きのウヰスキーの栓が拔かれた、濕氣の多い地面に木の葉等を布いて一同車座になつて水杯の盃を手にとつた、今日の

部隊長は髭を美しく 剃つて若返つてゐる相變らずいつもの温顔であつた「ああ俺か、俺はいつ戰死しても心殘りない樣に髭を剃つたのぢやよ、無精髭をはやしたみにくい顔を戰地にさらしたくないし、地獄へ行つて閻魔大王の前に立つても[illegible]樣にのう」と部隊長はつやつやした頰から顎を撫で廻し「これで十年位は若返つたらう」と一同を笑はせ、自分も呵々大笑しさうにからからと笑つた「それから俺のない後はここにゐる渡邊中佐が部隊長代理である」傍らでちびりちびりウヰスキーをなめてゐた渡邊中佐に[illegible]一言一句が中隊長の頭に浸み込み、[illegible]「みんな神妙な顔をしてゐるぢやないか、どうだわしの[illegible]ジャングルの中で踊らうか、あははは」古宮大佐は既に死を決してゐるが[illegible]明けて〇日、[illegible]行動を開始した、[illegible]部隊は部隊長を先頭に渡邊工兵部隊が未だ完了してゐない山道をアウステン山の背後に向つて黙々と進軍を續けた

如きは部下二十七名を指揮し迂回して敵の[illegible]を奇襲し、百何十名近くの米兵を斬り殺し、[illegible]迫擊路はアウステン山の[illegible]を[illegible]切開いたもので、[illegible]谷底へ[illegible]猿の樣に下りて行く何しろ言語に絶する[illegible]であつた、まして[illegible]午後になると必ずくつがへした樣な土砂降りである何處までも續く泥濘の道、將兵は雨にたたかれ泥にまみれ、ひた向きに進軍を續けた、那須少將と古宮大佐はびしよ濡れになつて先頭を進み、方角を定め密林を切開いてゐた、〇日漸くルンガ河上流に到達したが、[illegible]「閣下、無理をなすつてはいけません」大佐は時折少將の顔を覗き込みその無謀なるを諫止すると共に後退して療養に努める樣切に進言したが、「古宮、部下の苦勞を思へば」そんな時には大粒の涙が眼に光つてゐた、少將の頰はげつそりそげて目は日一日と生氣を失つて來る、それでも相變らず杖をしかとにすがり副官の肩を借りて古宮大佐と共に方角を定め密林地帶を切開きながら進んでゐた、少將のこの痛々しい姿を目擊し

斃れて後やむの 神々しい姿を眼の邊り見た兵隊達は「閣下でさへもあの樣な御苦勞をなされてゐる、俺達なんかなんだ、これしき」互ひに勵まし合ひ元氣づけあつてゐた、斯くて五日後の[illegible]察知されず飛行場の南側六百米のジャングル地帶へ到着したのである「今夜の二十二時を期して敵陣地へ突入する」と決し、兵隊達を一時休憩せしめ、[illegible]ジャングルの夜は來た、[illegible]一寸先も見えない闇の間、古宮部隊長は自ら磁石をもつて先頭を進み兵隊達は一列縱隊となつて續いた、いよいよ敵陣に近づいた時、大スコールが下界を押し流す樣に降つて來た、好機逸すべからず「突擊つ」の命令一下、部隊は[illegible]軍刀を[illegible]して敵の第一線へ飛び込んだ、この思ひがけぬ[illegible]に慌てふためいた敵は迫擊砲陣地の砲口を一齊に開いて日本軍に撃ち出した、砲彈は前後左右に炸裂し泥と石塊は雨と共に降りしきる、味方はばたりばたりと斃れて行くらしい

『軍旗と共に死ねつ』 聯隊旗手大路少尉は大聲に叫びながら部隊長に續いた「軍旗と共に」「軍旗と共に」兵隊達は[illegible]中で軍旗を頼りに[illegible]手探りで續いたのである「あつ」大路少尉は一聲叫んで泥へのめつた、すぐ[illegible]大野少尉は軍旗を捧持し「軍旗と共に死ねつ」と叫び續けた、兵隊達は戰友の屍を乘越えて進擊する、雨は激しくなるに從つて敵彈はいよいよ猛烈だ「軍旗暫らくは後退せよ」部隊長は[illegible]の中で叫んだ「軍旗はここまで進んで居ります、士氣[illegible]の上からも後退することは絶對出來ません」と大野少尉は敢然と進擊を續けたのである、だがしかし[illegible]雨は明れた、[illegible]古宮大佐は吉井少佐以下を集めて[illegible]部隊長の口から嚴かな言葉が[illegible]と居並ぶ將兵の襟を正させ身を緊張裡にこはばらせた

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス 朕ガ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ

[illegible]

少將は髭を吊上 [illegible]

[illegible]

『突擊だ！突擊だ！』 [illegible]

高熱と疲勞と負傷の [illegible]

深く敵の中へ斬り込 んで日本武士道の[illegible]

[illegible]「このままでは餓死を待つのみだ」[illegible]

內閣各省委員決定

約卅名增、總計四百五名

【東京電話】內閣及び各省委員の設置については政府、議會間でこのほど內閣及び各省部局の委員任命について內定を見たので二十九日の定例閣議において正式に決定し新委員は一兩日中に發令されることとなつたが、これに依り[illegible]各省委員の任期を[illegible]延長する勅令は廢止されることとなつた、今回新たに決定した內閣及び各省委員の數を昨年度に比較すれば、衆議院議員は二百六十名（昨年度二百四十三名）貴族院議員九十五名（昨年度七十八名）各界は五十名（昨年通り）となつて居りこのうち衆議院議員についてはた[illegible]

轉用協議會を設置に決定

【東京電話】[illegible]

眞心に寫眞を添へて慰問文

さくら印画紙

東京・小西六寫眞工業株式會社・日本橋

人事

[illegible]

けふの官報

[illegible]

小山書店・新刊

海燃ゆ　上田廣著　二・五八（二〇）

松風　石塚友二著　二・二八（二〇）

鶉（うづら）　眞船豐著　三・一〇（二〇）

今昔ロシア物語　相馬正男著　二・六八（二〇）

昭和十九年度 工場教科書

御採用の向は大至急御採用通報書を御送附下さい

大日本工業學會出版部

明年度教科書目錄進呈

大觀堂 新刊・重版

南海の仙境　森の小徑　邊疆アラスカ　中世紀の人々　日記と感想　シエリイの生涯　歷史をつくる人々　マリーアントアネット傳　バルザックの方法　壯年のテムヂン　樂聖夜話　日本の土　アイヌの學校　北方の星座　系圖　勤王　和戰何れも辭せず　新しき家

小學館 好評の重版書

日蓮　尾崎士郎著

青春紀聞　尾崎士郎著

白い壁畫　富澤有爲男著

馬琴・北齋・芭蕉　宇野浩二著

起てよ印度　野口米次郎著

社説

決戰下の大祓について

[illegible]

猛然・翼の毆り込み

胸のすく命中振り

ダーウィン空襲　駒澤大尉奮戰談

【南方某前線基地二十八日發同盟】[illegible]

へたくそ極まるものだ

ダーウィン爆擊

敵側發表

【ブエノスアイレス二十八日發同盟】メルボルン來電＝西南太平洋聯合軍司令部は日本航空部隊が二十八日大擧ポート・ダーウィンを爆擊した旨二十八日發表した

笑はせる敵の發砲

ダーウィン爆擊行を聽く

超低空の爆擊

【○○前線二十八日發同盟】[illegible]

梅岡和美中尉（熊本縣）

小野崎清少尉（栃木縣）

南場茂樹（略歷不明）

義務教育の就學率九割

[illegible]

阿部兵團長陣歿す

現地にて公務遂行中

【東京電】[illegible]

阿部中將略歷

懸案の臺大工學部

差當り十六講座　十月一日開設

機械工學科　第一講座　機械設計法　機械力學　第五講座　機械工作法

電氣工學科　第一講座　理論電氣學　第二講座　電氣機械學

應用化學科　第一講座　應用電氣化學　工業電氣化學　光化學　第三講座　工業有機化學　石油及燃料　第五講座　脂肪油、芳香油及合成化學工業

土木工學科　第一講座　コンクリート工學　第二講座　上水及下水　第三講座　構造力學

他に共通講座として

學生募集要項　七月一日附で發表する

[illegible]

學生募集要項

第一次募集

一、募集人員

機械工學科　約一〇名

電氣工學科　約一〇名

應用化學科　約一〇名

土木工學科　約一〇名

[illegible]

第二次募集

[illegible]

發價指定格付改訂

[illegible]

潮州稅務出張所

[illegible]

金屬類回收令を改正

總動員審議會で決定

【東京電】[illegible]

電報取扱に新措置

七月一日より實施する

監理課長談

[illegible]

【東京電】大政翼贊會中央協力會議

中央協力會議議長

前臺灣總督小林大將

正三位勳一等功五級　陸軍大將　小林躋造

（寫眞は小林大將）

情報局發表

金屬類回收令改正に關する勅令要綱

[illegible]

食糧局の事務刷新

局員の懇談會開催

[illegible]

臺南州下の蓬萊米初檢査

[illegible]

鐵管に優る

セミニス パイプ

水道管　排水管　工場用送水管　集水管　一般下水管

臺北市北門町一　電話專用　[illegible]

台湾セミニスパイプ株式會社

肺患と榮養

鰻精

東京市　牧田天地堂

やつめ鰻精

青年文化全集　各巻二圓　書店有

歐洲戰と青年

國家と青年

大東亞戰と青年

讀書と青年

能率と青年

趣味と青年

人物と青年

偉人と青年

記念と青年

新偉人傳全集の新刊

明るい印刷　精美堂

第十期決算公告

第五回決算公告

南興公司

臺灣硝子株式會社

消化率上昇

胃腸カタル・榮養不足に

食糧戰にも勝ち拔くため　錠劑わかもと　で消化機能賦活を

本劑は豐富なビタミンB_1・B_2・消化酵素等の協力により衰弱せる胃腸組織細胞を賦活し、胃擴張・胃下垂・胃アトニー等の胃筋弛緩症の治療を促進します結果、食物を無駄なく榮養化しますから、毎日缺かさず用ひ、配給食で健康へ……

錠劑　わかもと

わかもと本舖

陸軍航空本部撰定

索敵行

大空に祈る

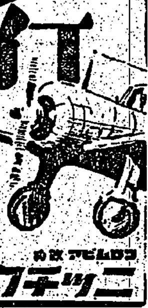
伊藤久男

霧島昇

楠木繁夫

日蓄合唱團

ニッチクレコード



お子樣の可愛い御兩親は是非

護れ少國民！興亞の世つぎ！

奥州齋川名産　孫太郎蟲

育兒の栞

東京　孫太郎　蟲臺灣駐在所

健康で御奉公

健康報國

美神丸

皇太后陛下の御仁慈

全國十四の癩療養所に

皇太后陛下の御仁慈

全國十四の癩療養所に

野菜、草花の種子御下賜

[illegible]

厚生大臣謹話

[illegible]

國に捧げよ若き血潮

ゆけ！海の護りへ

海軍志願兵　あすから願書受理

[illegible]

待つこと久し『七月一日』

一番乗りへ滿を持す青年

青年團

[illegible]

魁挺身隊

[illegible]

「重點を『全國大會』に」

決戰下に敢行第十四回神宮大會

[illegible]

軍艦旗の下御奉公

回天の偉業成し遂げよ

山本皇奉事務總長講演放送

山本事務總長

帝國

大任

天人

從容

再び

七生

日本

世界

海軍

[illegible]

闘魂よく片肺で歸還

ダーウィン爆撃行の死闘記録

[illegible]

既に自爆を覺悟す

奇蹟　エンヂンの火消ゆ

[illegible]

お菓子の配給制

來月からまづ島都に

[illegible]

厦門地區の敵產移管百廿件

[illegible]

まだ／＼足らぬ決戰貯蓄の認識

彈む座談會に意見續出

[illegible]

臺北勤行報國青年隊

海軍へ今ぞ起て適格青年

[illegible]

皇奉部長會議きのふ開く

[illegible]

開墾工事に孜々營々と…　コノホン社衆

[illegible]

陸軍技師に任ぜらる

三日郷軍屏東部分會の總會

轉勤

第十三回決算公告

[illegible]

現地にて公務遂行中

阿部中將略歷

[illegible]

學生募集要項

七月一日附て發表する

[illegible]

潮州税務出張所

[illegible]

新日本叢設叢書　宗教日本　教育日本　静國日本　經濟日本　花道日本　東京神田神保町三ノ二九　教育研究會

やつめ鰻精　牧田天地堂

胃腸カタル

今日の映畫

齒科　須永醫院

齒科　澁谷醫院

會葬御禮

從業員募集

[illegible]

部下の屍に自ら讀經
ニューギニアに敢鬪する田中少尉
立派な人物、佐久間氏語る

【新竹電話】二十七日の本紙朝刊第三面に掲載された"よし君の武運はつく〳〵"と題するニューギニヤ戰線の物語＝[illegible]の戰果に大空の護りに崇高なる[illegible]をみせて遂に逝つた高射砲隊松[illegible]上等兵、その遺骨を抱いて[illegible]を[illegible]上官、戰友、そしてその悲壯な光景の中に現はれた○隊長田中[illegible]少尉の部下を愛する心情の程に新竹州下の人々はアツと驚いた、部下英靈の為に自ら讀經する田中[illegible]少尉、その人の[illegible]こそ竹南[illegible]竹南寺の住職であり[illegible]であり方面委員でありまた[illegible]の地として知られた[illegible]山[illegible]化堂の[illegible]もやつてゐた僧侶であるのだ、同少尉は[illegible]大學を卒[illegible]入營、昭和十一年[illegible]ちに竹南寺に入つたもので同氏とは親しい新竹市新竹寺の住職佐久間[illegible]氏は[illegible]の新[illegible]をふるつて米英撃滅に活躍しつつある法友田中少尉を偲んで次の如く語つた

田中[illegible]少尉は[illegible]の寺で結婚した[illegible]に立派な人物で僧侶として働くは勿論社會事業には非常な力を入れてゐた、また決戰時にも[illegible]部下英靈の為に讀經する姿が眼に見えるやうだ

因みに田中少尉は本年正月[illegible]征途についたもので夫人キン子さんと一男三女が留守を守つてゐるが

この程佐久間氏の許に次の如き便りが寄せられてをり同少尉の面目を如實に物語つてゐる

拜啓 失禮致して居ります、幸ひ元氣で南海の天地で米英撃滅の戰ひを續けてをります 三十三年[illegible]、[illegible]生死不二門、[illegible]目下の心境[illegible]下さい、後は宜敷く御願ひします

【寫眞は田中陸軍少尉】

けふ新營街で 撃滅必滅の叫び

【新營電話】[illegible]米英撃ちてし止まんの[illegible]心を一層昂揚せしめるため新營[illegible]公會[illegible]では三十日午後二時より新營公會堂に於て[illegible]米英撃滅國民大會を開催するが當日の辯士は[illegible]支局長大久保氏外[illegible]大一氏である

三日臺東街 臨時協議會

【臺東電話】臺東街では[illegible]空施設の強化及び水道改良工事に關する追加豫算と[illegible]決定を附議するため三日午前九時より街協議會室において臨時協議會を開催する

一意兵の道に修練
若櫻洪君の初便り

【北斗電話】皇軍米英の撃滅に[illegible]第三回特設勞務奉公隊小隊長として比島バタアン各地の攻略戰に從軍し偉勲を樹て、昨年十二月[illegible]した北斗郡大城庄[illegible]、洪宗[illegible]君は陸軍特別志願兵第一回生甲種に合格し、去る六月二十一日[illegible]れの入所が出來、此の程[illegible]宗[illegible]君に右の如き初便りを出した

[illegible]本島青年は光輝ある帝國軍門に入り得た事は[illegible]のであると[illegible]感謝に堪へません、私は入所して以來教官殿の懇切なる教授指導振りには全く感激の涙が出ます、殊に私は南方で鍛へた經驗が今日のよき土臺となつた事をつく〲感じます、此れから一層專心"兵の道"の修練に努力するから御安心下さい、それから一日も早く陛下の御楯となり、鬼畜人類の敵たる米英の撃滅戰に參加し得る様[illegible]して居ります（以下省略）

因みに洪宗[illegible]君は昭和十五年[illegible]上の部[illegible]にて[illegible]水中[illegible]四年中途退學それより[illegible]所[illegible]となり昭和十七年二月第三回特設勞務奉公團員として活躍せる模範青年である

（寫眞は洪宗[illegible]君）

征かう海軍志願兵
いよ〳〵明日受付開始
明日を遲しと待つ

【高雄電話】高雄市の海軍志願兵志願は今度[illegible]に強し[illegible]年達は明日の受付開始を遲しと待つてゐるが此の際青年達の志願に呼應して皇奉會高雄市支會では受付開始を目前に控へて[illegible]の激勵と[illegible]べく各[illegible]にて[illegible]に進出し[illegible]により通行人に呼びかけるなど熱烈なる運動を展開してゐる

神社に感謝の參拜

【高雄電話】海軍志願兵の應募受付が開始される七月一日志願[illegible]への[illegible]を[illegible]けようと皇民奉公會高雄市支會が中心となつて一日午後參拜をすることになつたが參加者は[illegible]年團、[illegible]少年團をはじめ[illegible]年並に[illegible]者で市民有志の[illegible]が實現されたもので[illegible]の市民も參加して[illegible]神社の大前に[illegible]を[illegible]げることとなつた

行け、乘り出せ荒海へ

【斗六電話】皇奉斗六郡支會では海軍特別志願兵制度の[illegible]を[illegible]すると共に[illegible]青年の[illegible]起を促す[illegible]二十七日午後一時半より斗六西[illegible]國民[illegible]に於て[illegible]會を[illegible]したが、郡下[illegible]年女子青年指導者[illegible]人余[illegible]に大[illegible]中山支會長の[illegible]拶[illegible]で全[illegible]保安課長は「[illegible]國民としての[illegible]」と題し、[illegible]田[illegible]氏は「日本男兒の[illegible]」と題し、大野[illegible]氏は「大東亞戰爭と本島青年」と題し、最後に坂本[illegible]中隊[illegible]の[illegible]講演者何れも熱[illegible]を[illegible]び多大な感銘を與へて[illegible]を終り最後に中山支會長の[illegible]發聲に天皇陛下の萬歲三唱して[illegible]たるものありて午後五時[illegible]した

玉碎勇士に決意新た
山の社衆が尊き獻金

【[illegible]電話】[illegible]山郡マガツン社では去る五月二十一日に第二回[illegible]死者[illegible]を[illegible]行したが故人の[illegible]北海の[illegible]アツツ島に[illegible]した山[illegible]部隊長以下將兵の壯烈なる[illegible]の報に接した社衆はその不[illegible]の[illegible]を新にし感謝の心を以て米英撃滅へ[illegible]すべく[illegible]を申合せたが[illegible]二名が[illegible]によつて得た金七一圓五〇錢を取纏めマガツン駐在所へ献金の手續をとつた

國民皆泳の尖兵へ
指導者錬成會無事修了

【高雄電話】皇奉中央本部主催の「國民皆泳指導者錬成會」は二十五日から五日間に亙つて[illegible]で[illegible]、[illegible]の指導者四十九名は[illegible]皇民[illegible]の尖兵となるべく[illegible]に指導者としての心身の[illegible]をなし多大の成果を收めて二十九日一人の事故もなく無事終了したので引續き同[illegible]で修了式を擧行、[illegible]州支部長代理[illegible]、田村社會教[illegible]、丸山奉[illegible]主事、[illegible]長など臨席[illegible]員一同參列、[illegible]州支部長代理、各州代表者に夫々修了證書を授與し終つて[illegible]の訓示を與へ[illegible]講師を代表して挨拶を述ぶれば[illegible]は一同を代表して吾らの責任は重大である、吾らの[illegible]は正に吾らの雙肩にあると思ひ諸師の教へは元より只今の訓示を[illegible]して[illegible]する決意である と[illegible]決意の[illegible]を述べて一同海ゆかばを[illegible]して式を終へ一同は國民皆泳の尖兵となつて[illegible]すべき[illegible]を[illegible]び[illegible]の途に就いた

空の防人へ感謝の寄金

【高雄電話】空の防人へ感謝の[illegible]

國民皆働の實

凛々しモンペ姿
大和女子青年稻刈奉仕

【彰化電話】彰化市大和女子青年團では[illegible]米增產に一役買つて勤勞奉仕すべく團員五十余名は去る二十七日午前八時[illegible]の[illegible]井[illegible]小野團長引率の下に市内[illegible]三三〇[illegible]所有田[illegible]の稻刈作業をなしたが此の日團員一同は[illegible]ひのモンペ姿もりりしく[illegible]に[illegible]作業[illegible]より[illegible]を受けた後、大[illegible]主[illegible]の指揮で[illegible]

脂粉追放、女給さんも

【臺南電話】女給さんも米[illegible]に[illegible]ー皇民[illegible]だ、大いに食糧増産に[illegible]しませうと[illegible]

空地利用、見事結實
羅東郡で蓖麻種子四千二百斤

【羅東電話】羅東郡では[illegible]施設及び[illegible]を利用し郡下[illegible]公[illegible]を[illegible]して今年一月から[illegible]

海は男の行く處
海軍思想を啓發

高雄州

【[illegible]電話】[illegible]國民の[illegible]

戰時生活の基準確立へ

【[illegible]電話】[illegible]

硬貨回收に日婦會員乘出す

【彰化電話】日婦彰化市支會では[illegible]

決戰髪で行かう
皇奉屏東市支會で回覽板

【屏東電話】[illegible]

新化街の米英撃滅大會

【新化電話】新化街新化[illegible]では六月二十八日午後二時半公會堂に於いて米英撃滅國民大會を[illegible]

高雄州下で保姆講習會

【高雄電話】[illegible]

新竹州養豚王國目差す
體型審査始る

【新竹電話】新竹州では[illegible]

捨身の奉公をせよ
大田支部長廳民に要望

【[illegible]電話】[illegible]

新高都市建設資材入手成功

【[illegible]電話】[illegible]

皇奉臺中市支會の常會

【臺中電話】[illegible]

屏東商議所總會

【屏東電話】[illegible]

懷しの我が家へ
白衣の天使昨日歸還

【[illegible]電話】[illegible]

北港の米英劇演會

【北港電話】[illegible]

臺東廳「青年更生の夕」
醫師會も協力體位向上へ

【臺東電話】[illegible]

健民講師養成所修了式

【[illegible]電話】[illegible]

鄉軍羅東街分會で未教育者訓練

【羅東電話】[illegible]

獻金美談はつゞく

【大湖電話】[illegible]

赤誠の獻金
軍司令部（六月二十九日）國防獻金

[illegible]

市街庄便り

新竹市 [illegible]

淡水郡 [illegible]

新竹州 [illegible]

けふの放送

[illegible]

第二放送

[illegible]

大いなる祭 (172)

中野實作　三芳悌吉畫

[illegible]

富士 七月號

戰ふ鑛山秘話座談會

山本元帥の英魂

[illegible]

決戰征海今ぞ征け志願兵

國際館

米英撃滅
7月1日封切
奇想天外なるエノケンの化物退治
東寶映畫
兵六夢物語
絢爛たる特殊技術!

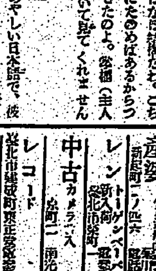
時候の變り目が一番危險！ [illegible]

包裝24錠

ぜん息・神經痛

高血壓 中風

今津博士の素晴しい研究



株式名義書換停止公告

日本アルミニウム株式會社

[illegible]